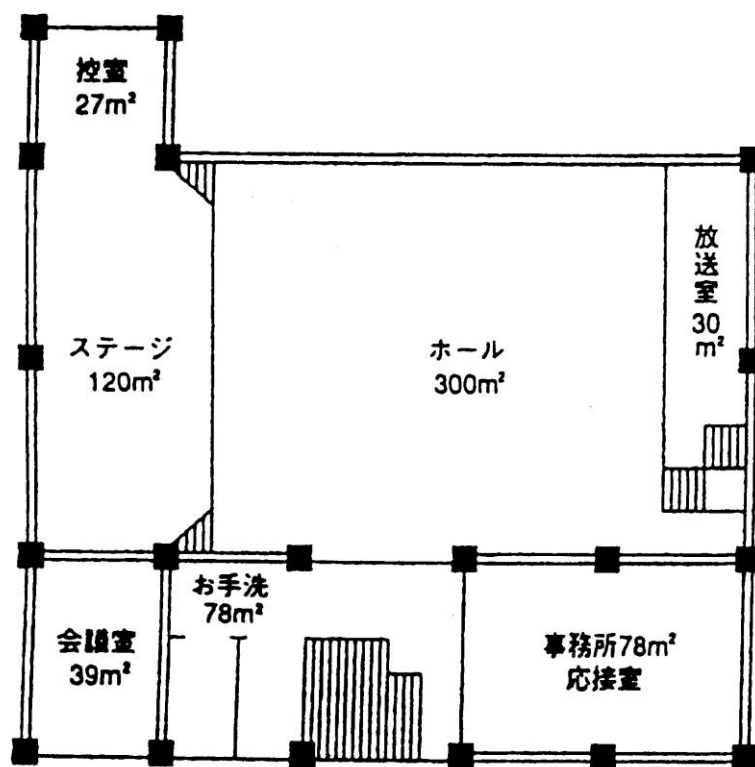


中 央 公 民 館



利用施設のご案内

〈中央公民館平面図〉（2階）



部 屋 名	収 容 人 数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	300 人程度	学習会・研修会・講演会・発表会・展示会等 (ピアノ・スクリーン・テーブル・イス・移動黒板)
会 議 室	15 人程度	学習会・研修会・会議等 (テーブル・イス・黒板)

I 中央公民館の沿革

昭和50年 7月11日	那覇市公民館条例が公布された。 (当条例は昭和50年 8月 1日から施行)
8月 1日	那覇市中央公民館が設置された。 (当施設は米国民政府が「那覇琉米文化会館」として、昭和44年 7月に建設し、文化活動の場として市民へ利用されてきたが、本土復帰と同時に日本政府に譲渡された。その後、昭和48年 6月22日に那覇市へ譲渡され、那覇市企画部の所管のもとに那覇市文化センターとして活用されてきた。昭和50年 8月 1日に教育委員会に移管され、1階に那覇市立図書館と那覇市立視聴覚ライブラリーが、2階に那覇市中央公民館がそれぞれ設置された。) 館長(兼務) 山元芙美子、主査 与儀喜常、主事 佐久本全が発令された。 社会教育指導員 伊良波長正、国吉千代子が配置された。 那覇市中央公民館の開館式が挙行された。
10月 1日	那覇市公民館運営審議会委員10人が委嘱された。(以後 2年毎に改選)
10月 7日	市民講座が開始された。
11月 7日	第1回那覇市公民館運営審議会が開かれ、会長に安里盛吉氏、副会長に富名腰朝氏が選任された。
12月 6日	沖縄県公民館大会が那覇市で開催された。
昭和51年 5月30日	放送機材が中央公民館に整備された。
8月20日	館長 山元芙美子が辞職し、新たに館長(兼) 金城幸明が発令された。
9月 1日	おかあさんのテレビ学級が開設され、放送利用が開始された。
10月 1日	主事が職名変更になり社会教育主事が発令された。
昭和53年 1月 1日	館長 金城幸明が配置替えにより、館長(兼) 浦本茂則が発令された。
昭和54年 5月 1日	館長(兼任) 浦本茂則が専任館長として発令された。
昭和57年 5月 1日	館長 浦本茂則が配置替えにより、館長 長堂忠一が発令された。
昭和59年 5月 1日	定数増(主事1)
昭和61年 2月16日	第33回沖縄県社会教育研究大会において、優良公民館として表彰される。
4月 1日	主事が公民館主事に職名変更された。
平成元年 4月 1日	館長 長堂忠一が配置替えにより、館長 国場幸忠が発令された。
平成 2年 4月 1日	館長 国場幸忠が退職により、館長 上原武雄が発令された。
6月 3日	中央公民館利用団体連絡協議会が結成された。
12月 7日	第20回沖縄県公民館研究大会において、優良公民館として表彰される。
平成 3年 2月 1日	創立15周年記念誌が発行された。
平成 4年 4月 1日	館長 上原武雄が配置替えにより、館長 佐久本全が発令された。
平成 6年 9月21日	第45回九州地区公民館研究大会(沖縄大会)が、那覇市で開催される。
平成 7年 4月 1日	館長 佐久本全が配置替えにより、館長 山内昌志郎が発令された。
平成 7年 8月 1日	館長 山内昌志郎が配置替えにより、館長 伊元源治が発令された。
平成 8年 4月 1日	公民館主事1減に伴い社会教育指導員1増
平成10年11月 2日	第51回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。

平成12年4月1日	館長 伊元源治が退職により、館長 前原信喜が発令された。
平成13年11月16日	全国公民館連合会設立50周年記念式典において、館長 前原信喜が全国公民館優良職員表彰を受ける。
平成14年4月1日	館長 前原信喜が配置替えにより、館長 高江洲盛雄が発令された。
平成15年4月1日	主査1増（時限配置）
平成16年3月23日	公民館条例施行規則が改正され、平成16年4月1日より、若狭公民館に非常勤館長が配置された。
平成16年3月31日	主査1減（時限配置解除）
平成16年11月9日	全国公民館連合会より、館長 高江洲盛雄が全国公民館優良職員表彰を受ける。
平成16年12月27日	公民館条例の改正により公民館運営審議会が廃止された。
平成17年4月1日	館長 高江洲盛雄が退職により、館長 新垣紀夫が発令された。 社会教育指導員1減
平成19年4月1日	館長 新垣紀夫が配置替えにより、館長 入慶田本浩徳が発令された。 社会教育指導員1増
平成21年4月1日	館長 入慶田本浩徳が退職により、館長 前原信喜が発令された。
平成22年4月1日	館長 前原信喜が参事兼館長として発令された。
平成22年11月11日～12日	第61回九州地区公民館研究大会（沖縄大会）が、那覇市（中央公民館ほか7会場）で開催される。
平成23年10月20日	第33回全国公民館研究集会 in さが（佐賀県）において、参事兼館長 前原信喜が全国公民館永年勤続職員表彰を受ける。
平成24年4月1日	参事兼館長 前原信喜が退職により、館長 手登根朗が発令された。
平成26年4月1日	館長 手登根朗が配置替えにより、館長 具志真孝が発令された。
平成27年4月1日	主任公民館主事（主事級）1減、社会教育指導員1減
平成28年3月	中央公民館開館40周年記念誌が発刊された。
平成28年4月1日	館長 具志真孝が退職により、館長 古塚達朗が発令された。
平成30年11月15日～16日	第69回九州地区公民館研究大会（沖縄大会）および第48回沖縄県公民館研究大会（那覇大会）が、那覇市（牧志駅前ほしぞら公民館ほか6会場）で開催される。
平成31年4月1日	館長 古塚達朗が退職により、館長 照屋満が発令された。
令和4年4月1日	館長 照屋満が退職により、館長 砂川龍也が発令された。

Ⅱ 令和3年度中央公民館事業目次

1	学習風景（写真）	13
2	成人一般対象事業	
〔1〕	市民講座	
◇	「聴いて！観て！五感で楽しむ！琉球伝統芸能 ～人気実演家による市民講座～」	14
◇	生涯学習課・中央公民館・石嶺公民館合同市民講座 D51デゴイチものがたり	15
〔2〕	成人講座	
◇	病気を防ぐ！健康ウォーキング講座	16
◇	新型コロナ講演会～2022年の展望～	17
3	高齢者対象事業	
〔1〕	高齢者学級	
◇	「さらに輝くシニアのための『脳とからだをいきいき♪元気アップ大作戦!!』」	18
4	青少年対象事業	
〔1〕	青年講座	
◇	「社会や学校で役立つ『傾聴』技術を習得！」～聴く力で身近な人を笑顔に～	19
〔2〕	親子ふれあい教室	
◇	那覇市中央公民館・浦添市中央公民館・国際海洋環境センター（GODAC）合同講座 海洋ごみについて考える～マイクロプラスチックって何だろう～	20
◇	与儀公園で親子星空みるみる会	21
5	家庭教育事業	
〔1〕	家庭教育学級	
◇	ネットで繋がる楽しさと怖さ～インターネットリテラシーってなに？～	22
◇	読み聞かせボランティア養成講座（入門編）	23
〔2〕	乳幼児学級	
◇	ぴよぴよ学級～パパもママも、みんな最初はひよこちゃん～	24
6	その他の事業	
〔1〕	地域連携事業	
◇	ガーブ川に鯉のぼりを泳がそう	25
〔2〕	地域学習支援講師派遣事業	
◇	寄宮中学校3年防災キャンプ	26
7	公民館まつり	27

1 学習風景



市民講座

「生涯学習課・中央公民館・石嶺公民館
合同市民講座 D51デゴイチものがたり」



成人講座

「新型コロナ講演会～2022年の展望～」



市民講座

「聴いて!観て!五感で楽しむ!琉球伝統芸能
～人気実演家による市民講座～」



青年講座

「社会や学校で役立つ『傾聴』技術を習得!」
～聴く力で身近な人を笑顔に～」



地域連携事業

「ガーブ川に鯉のぼりを泳がそう」



家庭教育学級

「読み聞かせボランティア養成講座(入門編)」

2 成人一般対象事業

〔1〕 市民講座

「聴いて！観て！五感で楽しむ！琉球伝統芸能 ～人気実演家による市民講座～」

趣 旨：令和元年5月20日沖縄県と本市・浦添市が共同で申請していた「琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な『琉球料理』と『泡盛』、そして『芸能』というストーリー」が“日本遺産”に認定された。それに伴い今回は、『芸能』を取り上げ、その価値や魅力を地域の誇りとして再認識する。また、令和2年4月1日から施行された「那覇市文化芸術基本条例」についても認知度を高め、文化芸術の大切さや意義を高める。

期 間：令和3年11月30日（火）～12月21日（火）全4回

時 間：15：00～17：00

場 所：中央公民館 ホール

対 象：那覇市内在住・在勤・在学者で4回とも受講可能な人

受 講 料：無料

定 員：40人

申込人数：40人（うち受講決定人数40人）

参加延べ人数：107人

講 師：宮城 茂雄（琉球舞踊 宮城流 師範/伝統組踊・琉球舞踊保存会伝承者）

歌三線 仲村渠 達也（琉球古典音楽 野村流音楽協会 師範/伝統組踊保存会伝承者）



★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	参加人数
1	11月30日（火）	琉歌と歌三線 ～うたの魅力～	29
2	12月7日（火）	琉球舞踊 ～身体表現の解説と衣装～	27
3	12月14日（火）	組踊「執心鐘入」～唱え・歌三線・所作の解説～	26
4	12月21日（火）	組踊「執心鐘入」～組踊を聴く・唱えの体験～	25



【参加者の声】

- ・那覇市民で良かったです。
- ・大好きな沖縄の伝統、文化について少しでも理解が深まったのではないかなと満足しております。先生の丁寧な説明と、普段見聴きできない舞踊、三線の実演を受けることができ、とても貴重な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・まずは、開催できたことがミラクルです。公民館、先生お二方、受講者がひとつに学べたことは素晴らしいです。

【まとめ】

普段知ることのない琉球伝統芸能実演家の衣装やかつら（髪型）にも触れ、講師のユーモアも交えた講話に受講者は夢中になり大変満足していました。あらためて琉球伝統芸能の素晴らしさと伝承者の技芸に感銘を受けたようです。伝統芸能の継承発展のためにも、より多くの人に理解していただくことが必要だと感じました。

生涯学習課・中央公民館・石嶺公民館合同市民講座 D51デゴイチものがたり

趣 旨：D51-222が沖縄に来て50年、なぜ那覇市の与儀公園にデゴイチが保存されているのか。

那覇市の交通鉄道の歴史と共に、90トンもあるD51デゴイチが九州から運ばれた経緯を学ぶ。

期 日：令和4年3月12日（土）10：00～12：00

場 所：那覇市中央公民館・与儀公園内D51

対 象：那覇市在住・在勤の市民

受講料：無料

定 員：20人

申込者：25人（うち受講決定人数20人）

参加人数：20人

講 師：外間 政明（那覇市歴史博物館 学芸員）



★★ 学習プログラム ★★

時 間	内 容
10：00～11：20	那覇の交通の歴史とD51の背景
11：30～12：00	与儀公園へ移動し、D51観覧

【参加者の声】

- ・沖縄の歴史も知れて、外間先生のお話が面白くて良かったです。那覇にあるD51を見守りながら、出来ることはお手伝いしたいです。
- ・那覇の歴史が深く知れて良かったです。当時の沖縄の思いと本土の方からの温かさが伝わる出来事です。
- ・いろいろな裏話が聞けて、楽しく受講できました！戦前からの鉄道の歴史は初めて聞いたので大変勉強になりました。係の皆さま大変お疲れ様でした。実物も見られ、改めて気持ちの大きさなど嬉しかったです。
- ・いつも通りを歩きながら「何か機関車があるなあ～」としか思っていなかったのですが、今日の話を聞いてD51には、ステキな人たちの思いが詰まっている事を知り、またこんな素晴らしいD51が那覇にあるのがとても嬉しくなりました。実際にフェンスの中から見る事もでき、貴重な体験をありがとうございます。

【まとめ】

- ・復帰50年の記念の年に、デゴイチの講座を開催でき又携わった国鉄の方々や全国の人々の沖縄を想う気持ちを知ることができ感謝無量です。引率をされた仲宗根先生と一緒に北九州へ行った仲間とも会えさらにデゴイチ愛が深くなりました。全国から届いたこの想いを伝える良い機会になりました。（石嶺公民館・川口）
- ・D51が沖縄にきた経緯がわかり感慨深かった。説明等は立て看板を読めばわかることだが、折に触れ、目の前で語り続けることが大事なのではないかと思う。そうすることで、デゴイチに対する思いが広がるのではないか。（生涯学習課・新里）



・与儀公園にあるD51-222、沖縄の子どもたちのニコニコ（222）笑顔を思い浮かべ贈られたことを知り深く感動しました。復帰を待っていたのは県民だけではないことを多くの市民に知って欲しいと新里、川口と協力し作り上げたこの講座ですが、開催した満足感では終わらず、全国から届いた沖縄復帰や子ども達への想いを継続して伝えていきたいと思ひます。（中央公民館・宇久）

↑復帰の年、那覇市の小学生72名を引率し北九州へ招かれた。仲宗根先生（中央）

〔２〕 成人講座

病気を防ぐ！健康ウォーキング講座

趣 旨：個人でも取り組みやすいウォーキングをベースに、運動習慣を身に付けいつでもどこでも気軽にウォーキングに取り組むことをめざす。

期 間：令和3年12月9日（木）～12月23日（木）全3回

時 間：19：00～21：00

場 所：神原小学校地域連携室その他

対 象：那覇市内在勤、在住、在学の20歳以上の人

受講料：無料（ただし保険料200円徴収）

定 員：20人 申込人数：18人（うち受講決定人数17人） 参加延べ人数：32人

講 師：仲吉 和美（那覇市ウォーキング協会 副会長）

★★ 学習プログラム ★★

回	日程	内容	場所	人数
1	12月 9日（木）	・なぜウォーキングが良いのかを学ぼう ・歩き方の基本、ストレッチ	【講義】 神原小学校 地域連携室	10人
2	12月16日（木）	・歩き方の基本、ストレッチ ・実践ウォーキング （与儀地区トックリキワタ巡り）		12人
3	12月23日（木）	・歩き方の基本、ストレッチ ・実践ウォーキング（国際通り巡り）	神原小学校周辺	10人



【参加者の声】

- ・夜は1人でウォーキングできないのでこのようなやり方だと健康的で安心楽しいです。
- ・数をもう少し増やしてもいいと思います。
- ・歩き方や、くつの選び方、ストレッチすべてまとめてよかったです。
- ・歩き方やラジオ体操、健康についての知識を教えて頂くことができて健康な生活を送るヒントになった。

【まとめ】

少人数ではあったが、講義や歩き方やストレッチの仕方など楽しく学べたと思います。

第1回目は歩くフォーム作りや神原小学校校庭内でのウォーキング、第2回目は同じくフォームチェックや与儀地区周辺のウォーキング第3回目は雨の中、傘をさしてのウォーキングなどあらゆる状況でのウォーキングを体験できたと思います。

この講座を通して多くの市民がウォーキングを通して健康づくりに励んでほしいと思いました。

新型コロナ講演会～2022年の展望～

趣 旨：2022年以降の新型コロナ感染症や他の感染症の動向に関する講演を通して今後のウィズコロナにおける市民一人ひとりの行動を考える機会とする。

期 日：令和4年3月9日（水） 19：00～21：00

場 所：中央公民館ホール

対 象：那覇市内在勤、在住、在学の20歳以上の人

受 講 料：無料

定 員：30人（先着順）

申込人数：19人（うち受講決定人数16人）

参加人数：16人

講 師：徳田 安春（一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長）

★★ 学習プログラム ★★

- ①マスクの効果
- ②換気的重要性
- ③検査の必要性
- ④ワクチンの効果とリスク
- ⑤治療薬の開発など



【参加者の声】

- ・大変勉強になりました。日々健康を意識しながら運動も大切ですね。
- ・徳田先生ありがとうございました。他の場所でコロナに向けて深く学ぶ機会があり、正しい知識をもっていれば、保育の現場も混乱しないのでは。コロナが早く収束して穏やかな日常がもどってきてほしい。
- ・今までスーパーへいってもカゴを消毒していましたが、接触感染がないことを知り安心しました。

【まとめ】

講師もコロナ感染対策に必要な5つの要点（マスクの効果など）を簡潔にまとめて説明して良かったと思います。

後半は受講者の質問にわかりやすく答えてくださり、理解度が増したと感じました。

またこのような講演会を開催し、時事的な話題を提供できるようにしたいと考えています。

3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

「さらに輝くシニアのための『脳とからだをいきいき♪元気アップ大作戦!!』」

趣 旨：本市では、近い将来、約4人にひとりが高齢者になると予想されている。老化は誰にでも訪れるもので避けて通れないものである。しかし、誰もが最期まで生き生きと自分らしく「幸せに生きる」ためにも、心身の虚弱化の予防は重要なことのひとつと考える。当講座で、五感に刺激を与えることにより認知機能を高め、高齢者の健康（生きがい）づくりの一助とする。

期 間：令和3年10月5日（火）～26日（火）全4回

時 間：10：00～12：00

場 所：中央公民館 ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学の60歳以上の人

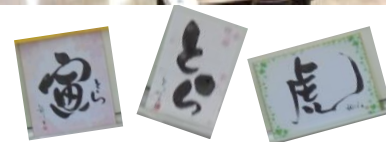
受 講 料：無料（但し、保険料・材料費300円は自己負担）

定 員：20人 申込人数：21人（うち受講決定人数21人）

参加延べ人数：79人

講 師：堀川 江梨子（公益財団法人日本体育施設 トレーニング指導士）

新里 利浩（日本結書協会 代表）



★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	講師	参加人数
1	10月5日（火）	・脳トレ ・セルフコンディショニング&ストレッチ	堀川 江梨子	21
2	10月12日（火）	・ボールやタオルを使って筋力アップ！ ・コアトレーニングほか		19
3	10月19日（火）	【講話】習字が脳の活性化に繋がる意味や書道 道具や筆の使い方等について。 【実践】きれいに書くことよりも面白く色々な カタチで描く。	新里 利浩	20
4	10月26日（火）	【実践】前回の復習後、自分だけのオリジナル 文字（作品）を色紙やポストカードに 仕上げる。		19



【参加者の声】

- ・年令を重ねる度に、運動が大切だと思いました。特に、だんだん体が硬くなって柔軟性に欠けてきますので、今度の講座はとてもよかった。また、結書の講座も初めてで、とても興味を持ちました。
- ・味のある字が書けたらよいと思います

【まとめ】

コロナ禍で活動に制限がある中、久しぶりの対面での講座にどの受講者も前向きに取り組んでいる様子うかがえました。やはり、シニア世代にとっては、仲間と集い・まなぶことも健康づくりの一助に繋がることをあらためて感じました。

4 青少年対象事業

〔1〕 青年講座

「社会や学校で役立つ『傾聴』技術を習得！」～聴く力で身近な人を笑顔に～

趣 旨：現在、新型コロナウイルス感染症の影響や様々な理由から「話したくても話せない（話す機会がない）」人々や、自ら命をおとす人々が増えており、心のケアのあり方も社会問題のひとつと考える。
「人は話すことによって心が軽くなる。心が浄化される。」とも言われていることから、相手の話を単に「聞く」のではなく、「よりよく聴く」ために、当講座で一定のスキルを身につけ、自分自身や身近で悩みを抱える人など、相手の話を受け止めて聴いたり、その人の側にいることにより、その人に安堵感を感じてもらい、誰もが生きやすい社会づくりの一助とする。

期 間：令和4年1月14日（金）～3月5日（土） 全5回

時 間：18:00～20:00*3月5日のみ 14:00～17:00

場 所：なは市民協働プラザほか

対 象：那覇市在住・在勤・在学の高校生・大学生・若年社会人

受 講 料：無料（但し、保険料・テキスト代500円は自己負担）

定 員：15人

申込人数：16人（うち受講決定人数16人）

参加延べ人数：44人

講 師：稲垣 暁（一般社団法人 災害プラットフォーム沖縄 共同代表理事）



★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	参加人数
1	1月14日（金）座学	『傾聴力』を身につける目的や意義、アイスブレイク等	10
2	1月28日（金）座学	「辛かったときの話を聴くには」（傾聴）	11
3	2月11日（金）座学	「がんばったときの話を聴き、記録するには」（傾聴→回想・ナラティブアプローチ）	11
4	2月25日（金）座学	「福祉技術を応用する」 「ディズニーランドや感情労働の現場に学ぶ」	7
5	3月5日（土）実習	「那覇の商店街で話を聴こう！」	5



【参加者の声】

最近、福祉の分野に興味が出始め、ちゃんと福祉関係の講座を受けるのは初めてで、少し不安だったが入り口がこの講座でよかったと思いました。講師は質問しやすい雰囲気づくりをしていたように感じだし、スタッフの皆さん親切で負担にならない程度に楽しく学習できた。理論的なことをもっと学びたいと思いました。

【まとめ】

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、講座内容を座学中心で学べるものに変更し実施しました。講師がこれまで「現場」「実地」で得た生の情報を交えての講話に受講生は感銘を受けたようです。専門職にできない役割を担う「第3の福祉」人材育成に繋がる（繋げる）当講座の必要性を強く感じました。次回は実習を増やし、よりスキルアップが図られる講座内容となるように企画していきたいと考えています。

〔2〕親子ふれあい教室

那覇市中央公民館・浦添市中央公民館・国際海洋環境情報センター（GODAC）合同講座

海洋ごみについて考える～マイクロプラスチックって何だろう～

趣 旨：近年マイクロプラスチックの害が取りざたされるが、テレビの向こう側だけでなく、私たちが住むこの沖縄にも大きな影響を与えている。そのことを「海洋ごみの現状」から学び、環境問題と自分たちの生活とのつながりを理解してもらう。

期 間：令和3年7月31日（土）～8月1日（日）10：00～12：00

対 象：那覇市内在住、在学の小学生とその保護者

場 所：ネットの繋がる環境下（Zoom講座）

受講料：無料

定 員：親子10組20人

申込人数：6組15人（うち受講決定人数6組15人・兄弟含む）

参加延べ人数：10組23人

講師名：藤井晴彦（沖縄自然環境ファンクラブ代表）、澤野健三郎（国際海洋環境情報センター）



★★ 学習プログラム ★★

回	日 時	内 容	講 師	人数
1	7月31日 (土)	問題になっている海洋ごみはどこから来ているのか？ 那覇市にある安謝川の流域地図を用いて、尾根や谷など等高線を学ぶことで水の流れを知りごみの流れを理解する。	藤井 晴彦	4組 8人
2	8月1日 (日)	国際海洋環境情報センター（GODAC）と浦添市中央公民館、那覇市中央公民館、そして浦添と那覇の各家庭をZoomで繋ぎ開催。海洋ごみが日本を含めた世界共通の問題であることを理解させ、環境問題と自分たちの生活との関わりを実感することで、地球環境へと関心を持たせる。	澤野 健三郎	6組 15人

【参加者の声】

（児 童）わかりやすく海が大切だと思った。学校でもやって欲しい。

（保護者）子どもも私も興味のある分野でした。現在はプラスチックが無くてはならない素材となっているので、それをゴミとして捨てる事や、購入するときも考えながら行動したいと思います。

（保護者）海のゴミ問題は知っているつもりでしたが、何のアクションも出来ずにいたので反省するばかりです。考えさせられました。私達も勿論ですが、後世に伝えていくのが私達の務めだと実感しました。きっと役に立てたいと思います。継続的にやって欲しいです。

【まとめ】

今回は、Zoomを利用し1日目は首里にある「森の家みんな」と受講生の家庭を繋いで開催し、2日目は那覇市の子どもたちと浦添の子どもたちの各家庭、那覇市中央公民館・浦添市中央公民館・名護市のGODACを繋ぎ世界の海について学びました。今回の講座で、子供たちの中に「地球の環境を作っていくのは私達だ」という気持ちが芽生えたと思います。保護者からも「子どもと一緒に環境を考える良い機会になった」と声をいただきました。2名の講師それぞれの切り口で環境の大切さを受講生の親子に伝えられた良い講座になりました。

与儀公園で親子星空みるみる会

趣 旨：近隣の小学生を対象に公園内で見られる星々、星座や惑星などを望遠鏡で見てもらい、那覇市内でも星空観察ができることを体感させ与儀公園の自然環境に興味を持たせる

期 日：令和3年11月12日（金）18：00～20：00

場 所：那覇市中央公民館・与儀公園

対 象：那覇市内在住、在勤、在学の小学生とその親子

受講料：無料（ただし保険料50円徴収あり）

定 員：親子15組30人

申込人数：15組42人（うち受講決定13組40人）

参加人数：10組33人

講 師：田端 研二(亜熱帯天文台 台長)



★★ 学習プログラム ★★

時 間	内 容
18：00～19：00	星空クイズや当日見える星々、惑星のお話 11月19日の部分月食のお話
19：10～20：00	実際に与儀公園の広場へ出て、月や金星・土星・木星を望遠鏡で見る

【参加者の声】

～児童～

- ・あまり星が見えなかった。でも見えた星はとてもきれいだった。はじめてどせいをみた。ほんとうに、わっかがあって絵みたいにきれいな形をしていた。次の月食が楽しみ。
- ・ほしをみるのがたのしかった。1分ごとにばしょがかわるのがわかりました。
- ・今日は空のことがいろいろ学べたから楽しかった。とてもみやすくて、きれいでした。
- ・きりんざがあったことをはじめてしりました。みてよくしらべてよくかんさつできた。
- ・なかなか見ることでできないものを見ることができたので、よかったと思う。
- ・月がきれいだった。

～保護者～

- ・コンディションはイマイチでしたが、ゆっくり待つことで雲の動きや星の動きも感じる事が出来た
- ・低学年にはちょっと理解しづらいと思う。
- ・星をこういう風に見る機会がなかったので良かった。
- ・このような機会が無いので参加して良かった。星は見えなかったけど勉強になった
- ・話がとても分かりやすかった。低学年の子には長すぎるので、参加型の説明があると良い。星座の位置や惑星の特徴を詳しく教えてくれた。

【まとめ】

地域子どもたちに那覇市のまんなかにある与儀公園でも星空を楽しむことが出来ることを知って欲しくて企画しました。

「親子で体験できる機会が少ないので参加しました」と総勢7名で参加されたご家族もいらっしゃいました。近隣の公園で夜間に講座を開催できるメリットは大きいと感じたので、もっと体験型の講座を増やし与儀公園の自然環境にもっと興味を持たせたいです。



5 家庭教育事業

〔1〕 家庭教育学級

ネットで繋がる楽しさと怖さ～インターネットリテラシーってなに？～

趣 旨：顔の見えないインターネットの世界、その危険性を保護者が学び理解することで子どもとの対話のきっかけとし家庭の中でのネットの使い方やルール作りに役立て、より良い親子関係を目指す。
また、家庭教育を支援する関係者等に対して、専門知識を深め技能等を高めてその充実を図る。
併せて市町村主体の家庭教育支援や子育て支援に関わる人材の育成につなげる。

期 日：令和3年7月18日（日）10:00～12:00

場 所：各自ネット環境のある場所（沖縄県生涯学習センターからZ o o m配信）

対 象：那覇市内在住・在学の児童生徒を持つ保護者及び地域コーディネーター、学校関係者、
家庭教育支援に関する活動をしている人、家庭教育に関心のある人

受講料：無料

定 員：50人 申込人数：9人（うち受講決定人数9人） 参加人数：9人

講 師：金城 明子（全国w e b カウンセリング協会認定いじめ対応アドバイザー・児童心理カウンセラー・
家庭教育支援アドバイザー）

★★ 学習プログラム ★★

時 間	内 容
10:00～11:00	「SNSの危険性と正しい活用」 子どもたちに支持されている動画系アプリやソーシャルメディアの最新動向、 利用実態について学び、携帯電話やインターネットの危険性とその対策を知る。
11:00～11:10	～休憩～
11:10～11:45	夢実現「親のまなびあい」プログラム グループワーク「家庭の中でのネットの使い方やルール作り」
11:55～12:00	まとめ

【参加者の声】

- ・金城先生の講話、よくわかりました。私自身も携帯との付き合い方を見直したいと思いました。ありがとうございました
- ・コロナ禍でも学ぶことが出来て良かったです
- ・小学校低学年の子どもがふたりいるので、スマホやi P a dを操作しているときは、私も一緒になってゲーム等をやってみたいなあとと思いました。放置気味なのと、自分自身も休日はスマホでSNSして3時間とかしているの、反省しました。子どもにお手伝いや一緒にできることを増やして、SNSに触れる時間を減らす工夫が必要だなあと感じました。



【まとめ】

講師がSNSの発信内容をひとつひとつ拾っていくことで個人特定ができることを実践し、如何に子どもたちが危険に巻き込まれやすい環境に居るかを知ることが出来ました。また、参加した保護者にも一日にどれくらいスマホを触っているのか？それぞれのスマホで確認してもらおうと思っていたより長時間使用していることに気づき驚いていました。現代の子どもたちは常にゲーム機やスマートフォンなどからネットに触れているため、改めてネットの使い方を家庭で話し合うことが必要だと感じました。その中でもただ利用時間を決め、頭ごなしにダメだと禁止するよりも、ネットリテラシー「ネットの持つ便利な特徴を理解しトラブルを回避しながら正しく利用する」ことを理解させることが大切だと感じました。

読み聞かせボランティア養成講座（入門編）

趣 旨：読み聞かせを通して、多くの子どもたちが絵本の楽しさを体験し、絵本に興味・関心を持てるよう、読み聞かせの基礎や実践方法を学び、読書環境づくりの促進ができる人材を養成する。
また、参加者自身が本を読むことの楽しさを学び、仲間づくりをすること、活動の場を広げることとする。

期 間：令和3年10月13日（水）～11月9日（火）全5回

時 間：10:00～12:00

場 所：那覇市中央公民館ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学で、読み聞かせボランティアに関心のある人

受 講 料：無料 **定員：**先着30名 **申込人数：**30人（うち受講決定人数26人）

参加延べ人数：118人

講 師：平良 京子（沖縄県子どもの本研究会 会長）、山内 淳子（沖縄県子どもの本研究会 副会長）
田名 洋子（沖縄県子どもの本研究会 副会長）

★★ 学習プログラム ★★

回数	期 日	内 容	講 師	人数
1	10月13日（水）	「読み聞かせの必要性と方法」	山内 淳子	26人
2	10月20日（水）	「絵本の種類と選び方」	田名 洋子	21人
3	10月27日（水）	「読み聞かせを楽しく～小道具を使って～」	平良 京子	25人
4	11月 2日（火）	「読み聞かせにチャレンジ」	山内 淳子	23人
5	11月 9日（火）	「プログラムを立てて実践しよう」	山内 淳子	23人



【参加者の声】

- ・自分の知らなかった読み聞かせの世界を知ることができました。
- ・読み聞かせする際の絵本の選び方に迷うところですが参考となりました。
- ・読み聞かせの楽しさ、工夫が特に勉強になりました。自分が楽しんでこそかなと思いました。
- ・読み手の心構え、準備についての説明など今後の活動の助けになると感じました。

【まとめ】

コロナ感染症の影響で近隣保育園における読み聞かせの実践練習やボランティア活動を行うことはできませんでしたが、受講生同士での絵本の読み合いや、グループ発表の中でテーマを決めたおはなし会をすることで、相手に向かって読み聞かせをする感覚を練習しました。受講生のほとんどが読み聞かせ初心者でしたが、受講後に読み聞かせボランティアを募ったところ、21名の登録者がありました。本講座が受講生にとって充実した学びとなり、今後の活動につながったことと思います。

〔2〕 乳幼児学級

びよびよ学級 ～パパもママも、みんな最初はひよこちゃん～

趣 旨：はじめての育児で抱える悩みや不安を共有しあえるママ友づくり、パパ友づくりを目指し夫婦で育児が楽しくなるよう支援する。

期 間：令和3年9月8日（水）～26日（日）10：00～12：00 全4回

場 所：各自ネット環境のある場所（那覇市中央公民館からZ o o m配信）

対 象：那覇市在住・在勤の保護者と乳幼児（3ヶ月～1才未満）

受講料：無料 定員：親子10組

申込人数：14組（うち受講決定人数14組） 参加延べ人数：33組68人

講 師：崎山 未来（こどもみらい課主査）、古堅 裕子・仲宗根 純子（色彩コミュニケーション色ひろば）

玉那覇 敦也（お父R i n g 沖縄）、H I S A K O（助産院ばぶばぶ助産師）



★★ 学習プログラム ★★

日 程	内 容	講 師	人 数
9月 8日（水）	那覇市の子育て支援、らららステーションとは？ 子育て支援サービスや親子で楽しむ手遊びなど	崎山 未来	8組 16人
9月15日（水）	カラーコミュニケーションヨガ ヨガで凝り固まった体をカラー診断で心をほぐす	古堅 裕子 仲宗根 純子	9組 18人
9月19日（日）	パパのスイッチどこにある？ お父さんの失敗あるある	玉那覇 敦也	7人
9月26日（日）	お笑い子育てセミナー 子育ての悩みを笑いかえて！	H I S A K O	9組 27人

【参加者の声】

- ・子育て支援サービスの案内などあり、知らなかった情報が多かったので、すごく為になりました。早速ラインでの相談サービスも登録しました。また、赤ちゃんとの遊び方や声かけなども実践して頂き、とても勉強になりましたし、楽しく参加できました。ありがとうございます。
- ・慣れない授乳で肩がバキバキでしたので、肩周りの凝りが一気に取れた気がします。本当に楽になりました！カラー診断は、まさに育児3週間たった自分の気持ちが表されていて驚きました。皆さんの育児状況も聞けて、焦ったり不安だったり気が張っていたり、リラックスしたいって思うのは私だけじゃないんだなと少し気持ちが楽になりました。
- ・他の子育て世代のパパの話も聞けたのでとても良かったです。
- ・最後の子育てセミナーでは、経験豊富な方の具体的なアドバイスが聞けて特に良かったです
- ・それぞれ！と思うことをズバズバと言ってくださりとっても共感できたし少し気持ちが楽になりました。
- ・自分が相談したこと、また参加されている皆さんの相談に講師が答えた内容を聞いて、とても気持ちが楽になりました。相談できて良かったです。

【まとめ】

ママだけの回、パパだけの回、夫婦の回などメリハリをつけ、パパが参加しやすいように学習プログラムを構成しました。育児の悩みはママだけでなくパパにとっても大きな問題。パパだけの回では寝かしつけの技「お勧めY o u T u b e の番組」で盛り上がり、育休の取り方など色々な情報交換などが行われました。夫婦の回では、助産師のH I S A K Oさんとご主人のMARKさんが子育ての悩みを笑いに变えてトークしたり、産後に起こるママの体と心の変化について専門家としての的確なアドバイスもあり、みんな相談して良かったと笑顔になっていました。



6 その他の事業

〔1〕 地域連携事業

ガープ川に鯉のぼりを泳がそう

趣 旨：与儀公園活性化の一環として近隣こども園の児童が作った鯉のぼりをガープ川にあげ、近隣住民の憩いの場所として定着させたい

期 間：令和3年4月28日（水）～5月末

場 所：与儀公園内ガープ川に架かる橋の近く5か所

対 象：宮城原保育園の園児、わかば認定こども園の園児、中央公民館利用団体

受講料：無

定 員：無

参加延べ人数：68人



日 程	内 容	協 力 団 体	人 数
4月28日(水)	10:00 公民館前集合 童話「鯉のぼり」斉唱 手作り鯉のぼり掲揚	宮 城 原 保 育 園	35人
4月30日(金)	10:30 公民館前集合 童話「鯉のぼり」斉唱 手作り鯉のぼり掲揚	わかば認定こども園	33人

【まとめ】

毎年利用団体の会長がガープ川に鯉のぼりを飾っていることから、令和3年度より近隣こども園や保育園の子どもたちが作った鯉のぼり作品と一緒に泳がせて、より近隣住民に親しまれる公園にしたいと始めた事業です。宮城原保育園とわかば認定こども園の2団体に賛同していただき、子どもたちの作品を公民館前のガープ川に泳がせることが出来ました。

掲揚式には、みんなで童謡「こいのぼり」を歌い代表の子と一緒にロープで鯉のぼりを川に泳がせました。

出勤するサラリーマンやお散歩で訪れる方々が足を止め写真を撮っていました。

作品を提供してくれた子どもたちのパパママだけでなく、おじいちゃんやおばあちゃんも一緒に訪れ写真を撮っている姿はとても微笑ましいものでした。



〔２〕 地域学習支援講師派遣事業

寄宮中学校3年防災キャンプ

趣 旨：避難所となる学校にて備蓄品（簡易テントなど）を使い宿泊避難所疑似体験や県内における防災キャンプの実例などを学び、もしもの時に対応できるようにする。

期 日：令和3年11月26日（金）

時 間：19:00～21:00

場 所：寄宮中学校 体育館

対 象：寄宮中学校3学年

主 催：寄宮中学校3学年PTA

参加人数：150人（3学年PTA役員7人、保護者18人、教員15人、生徒（3年生）110人）

講師名：一般社団法人 災害プラットフォームおきなわ 宮平 未来

★★ 学習風景 ★★

学校（指定避難所）にて宿泊や防災講話など疑似体験を通して防災を学ぶ。

		
講話の様子①	講話の様子②	テント組立て①
		
テント組立て②	就寝準備	夜間の様子

【学習報告】

防災講話を聞くことにより、難しいことから防災について考えるのではなくキャンプなどから避難を疑似体験し、災害時に必要とされる行動や準備の必要性を感じてもらえた。避難所（屋内）だけでなく野外避難などの体験も開催したい。次回につなげたい。

7 中央公民館まつり

展示風景



絵手紙サークル「結」



パッチワークサークル
キルトビー

舞台発表風景



与儀吟遊会

舞台発表風景



琉舞サークル「花ずみ会」



那覇青少年舞台プログラム



エヴァダンスア与儀



女性合唱団「シャイニー」



那覇チャンバラスポーツ
クラブ空手同好会



太極拳「水心会」



民謡サークル
「あしびなー」



ベリーダンス サクラレ



創作エイサー天之川

第46回 那覇市中央公民館まつり

2月26日(土)

会場:那覇市中央公民館
司会:那覇青少年舞台プログラム

※舞台の部

種目	団体名	演目	開始時刻
1 詩吟	与儀吟遊会	不識庵機山を撃つの図に題す 道灌義を借るの図に題す	13:00
2 琉舞	琉舞サークル 花すみ会	加那ヨー	13:20
3 あいさつ	中央公民館長	館長あいさつ	13:40
4 ワークジョップ	那覇青少年 舞台プログラム	出発の朝 那覇センセイション	13:45
ホール換気・観客入れ替え			
5 バトン トワリング	エヴァダンシア 与儀	Make you happy	14:40
6 あいさつ	中央公民館長	館長あいさつ	15:00
7 合唱	女声合唱団 「シャイニー」	ねこじやらし さびしいカシの木	15:05

新型コロナウイルス感染予防対策のために、ご協力をよろしく願っています。
・距離をとってお座りください。ご声援は大きな拍手のみでお願いします。
・マスクの着用、入場時の体調チェック・手指消毒の実施にご協力ください。

※展示の部

団体名	展示期間
1 絵手紙サークル「結」	2/21(月)~3/7(月)
2 バッチワークサークル・キルトビー	2/24(木)~3/3(木)

第46回 那覇市中央公民館まつり

2月27日(日)

会場:那覇市中央公民館
司会:那覇青少年舞台プログラム

※舞台の部

種目	団体名	演目	開始時刻
1 空手	那覇チャンバラスポーツ クラブ空手同好会	空手の型 パッサイ 古武道の型 手甲 古武道様の型 周氏の棍小	13:00
2 あいさつ	中央公民館利用団体 連絡協議会会長	会長あいさつ	13:10
3 太極拳	太極拳 水心会	24式太極拳、功夫扇	13:20
4 民踊	民踊サークル あしびなー	あやかり節 くるくる口節	13:40
ホール換気・観客入れ替え			
5 ペリーダンス	ペリーダンス サクラレ	オホス・アシー アジス・エイニー	14:35
6 あいさつ	中央公民館利用団体 連絡協議会会長	会長あいさつ	14:55
7 エイサー	彩風	久高・ダイナミック琉球 ワンダー	15:00

新型コロナウイルス感染予防対策のために、ご協力をよろしく願っています。
・距離をとってお座りください。ご声援は大きな拍手のみでお願いします。
・マスクの着用、入場時の体調チェック・手指消毒の実施にご協力ください。

※展示の部

団体名	展示期間
1 絵手紙サークル「結」	2/21(月)~3/7(月)
2 バッチワークサークル・キルトビー	2/24(木)~3/3(木)